

農業水利施設ストックマネジメントの高度化に関する技術開発

プラットフォーム名：ストックマネジメント効率化に関する情報交換と技術検討

コンソーシアム名：ストックマネジメント効率化コンソーシアム

代表機関名：国際航業株式会社

計画の概要

【目的】

最先端技術（センシング/ロボット/ビッグデータ/AI等）を組み入れたインフラマネジメント技術を開発・普及させ、インフラメンテナンス産業の発展に貢献することを目指す。

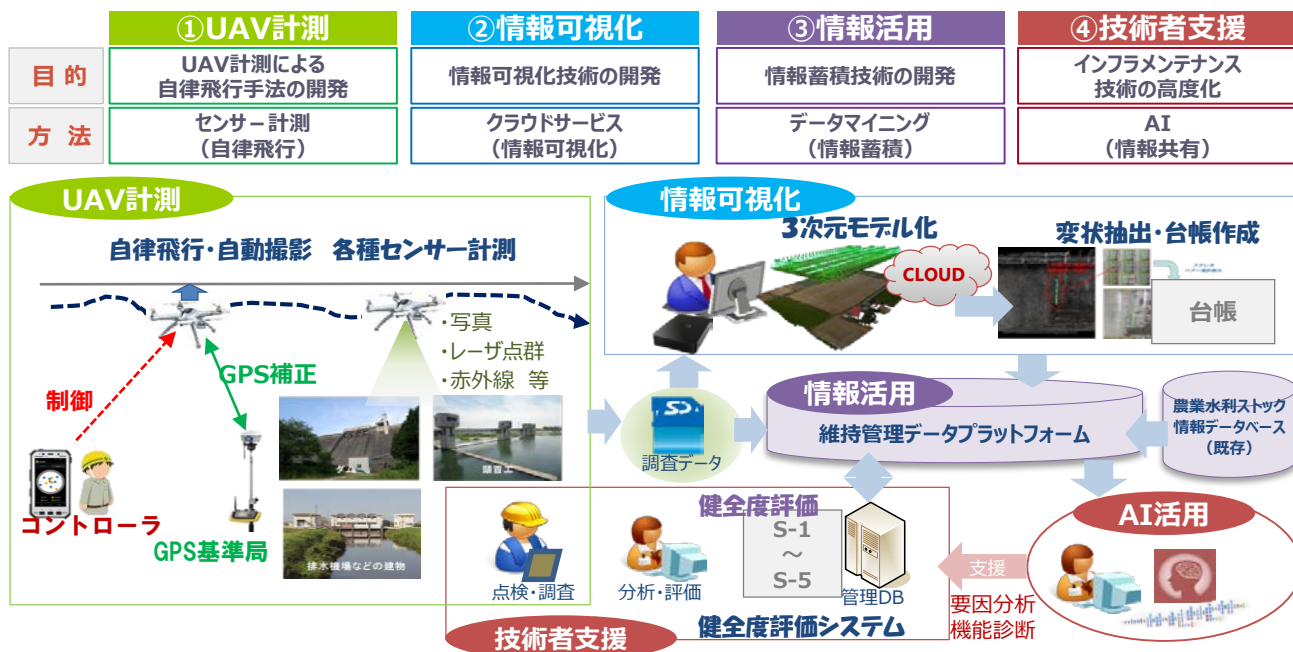
【研究内容】

※最新技術による低コストで安全なインフラマネジメントシステムを構築するため、①UAV計測、②情報可視化、③情報活用、④技術者支援の4項目について研究開発を行う（下図参照）。

※農政局等関係機関の協力のもと、技術蓄積と普及・実用化を推進する。

※開発した技術は知財化し、契約に基づき広く実施許諾することで活用を推進するとともに、継続的な技術の高度化を図る。

研究計画概要図



【参画機関】

- ① 国際航業株式会社
- ② 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門
- ③ 応用技術株式会社
- ④ 株式会社水域ネットワーク
- ⑤ 富士フイルム株式会社

【目指す姿】

- “誰もが活用できる”農業水利施設の点検・診断技術の開発と普及
- UAV自律飛行手法の開発、情報可視技術により、点検コスト20%DOWN
- プラットフォーム構築、劣化要因分析手法により、機能診断効率20%UP